

最終報告

2019年3月10日



本日の議事内容

1. プロジェクト体制紹介
2. 【振り返り】 依頼内容確認
3. 【振り返り】 調査活動概要
4. 自治会活動の現状
5. 【調査結果】 対面ヒアリング結果
6. 【調査結果】 アンケート結果
7. 【まとめ】 課題と改善提案

1. プロジェクト体制紹介

館ヶ丘自治会



高瀬智規さん
会長



村上浩一さん
副会長



塚田賢一さん
事務局長



水上裕之さん
広報

サービス
グラント

北詰さん

プロボノワーカー



尾山
金融系企業勤務



木部
メーカー系企業勤務



森瀬
教育系企業勤務



小林
コンサル系企業勤務



川口
メーカー系企業勤務

拓殖
大学

工藤先生

2. 【振り返り】 依頼内容確認

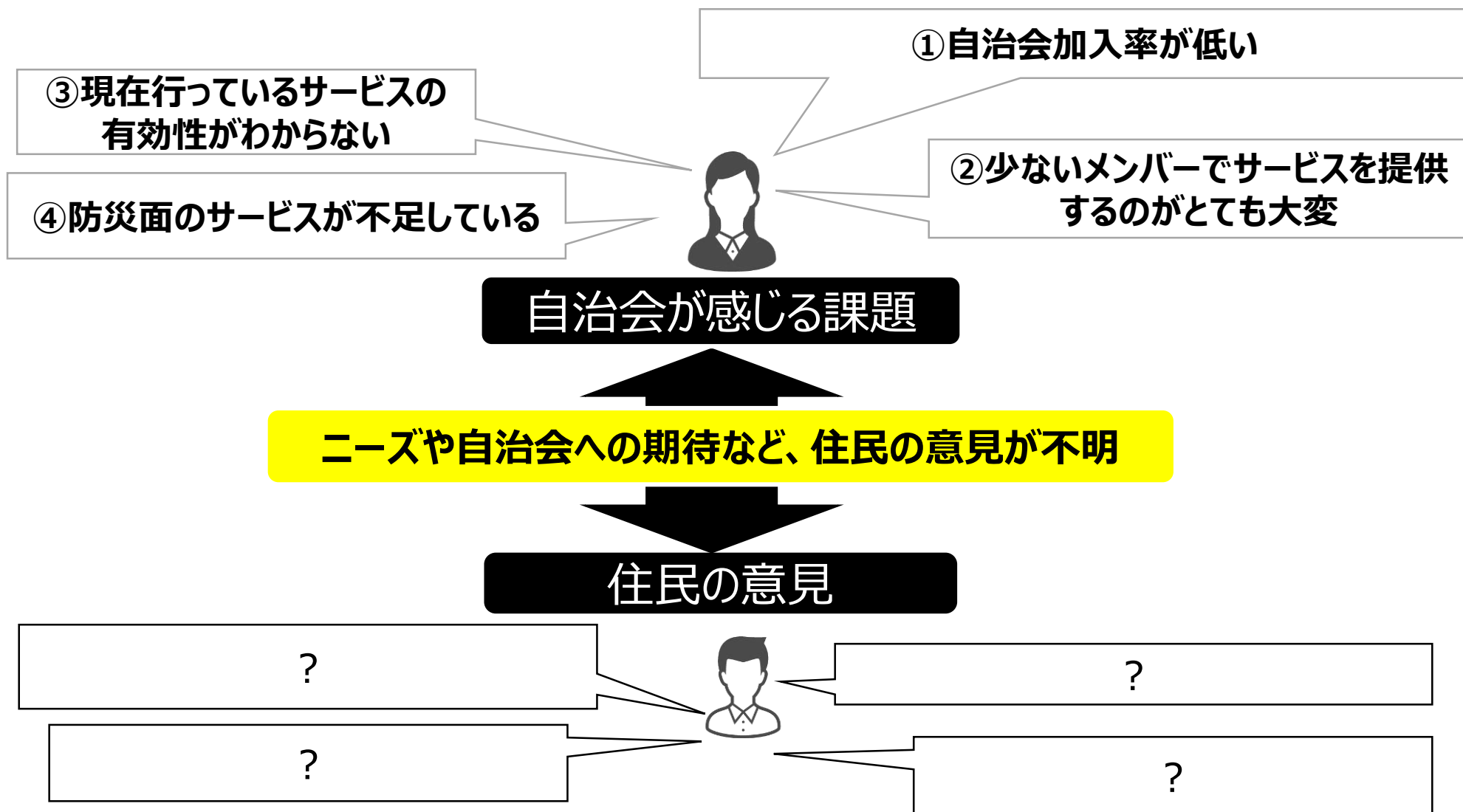
館ヶ丘団地基本



- UR賃貸 築43年
- 住居数 2100戸（うち55%高齢者）
- 自治会加入 500戸（約2割）
- 自治会費 1200円/ 年
- サービス内容
自転車タクシー/縁側/健康体操/広報誌
/FB/イベント企画

少ない自治会メンバーで、多種多様なサービスを展開

2. 【振り返り】 依頼内容確認



2. 【振り返り】 依頼内容確認

目標

- ・ 住民の自治会に対するニーズ・要望の分析
- ・ 本質的な課題抽出と提言

成果物

1

住民のニーズや
要望の分析

- ① 住人の属性ごとの要望
- ② サービスに対する認知・満足状況
- ③ 自治会に加入しない理由

2

本質的な
課題抽出と提言

- ① サービスの見直し
- ② 加入者増加の施策

3. 【振り返り】 調査活動概要

住民の自治会に対するニーズ・課題を明らかにするために、2段階調査を実施。

1. 対面ヒアリングによる、住民・関連団体の声の抽出

12
月

- ・ 住民属性ごとの主な意見を聞き出す（加入者、非加入者、年代等の傾向）
- ・ 関連する団体・組織からの主な意見を聞き出す（商店街、銀星会、さくら等）

2. 全戸配布アンケートによる、調査対象者の拡大と量的裏付け

2
月

- ・ 各活動に関する認知・満足状況の見える化
- ・ 非加入理由の分析とそこから見えるニーズ・課題の洗い出し

調査結果報告会

本
日

3. 【振り返り】活動実施内容

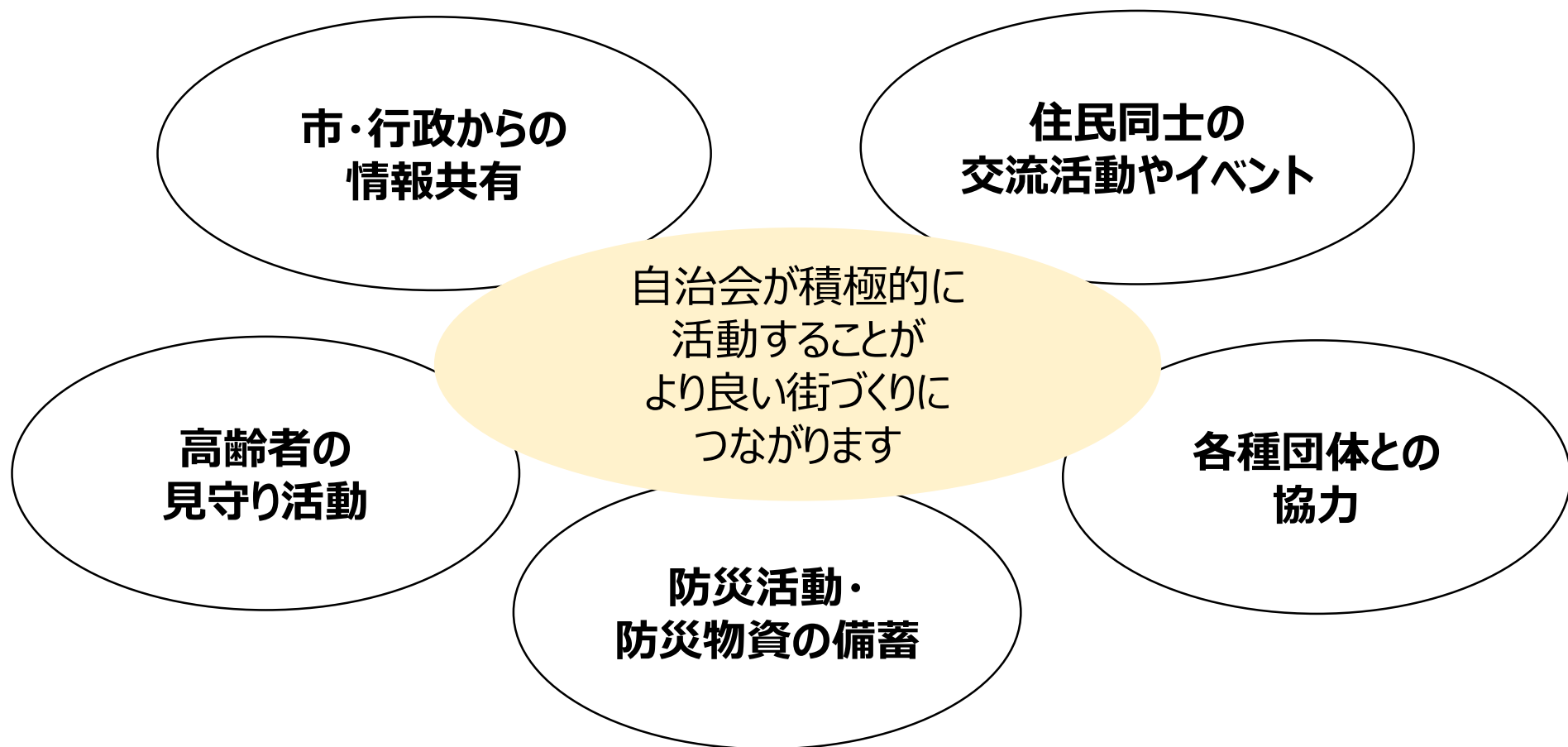
活動内容一覧

時期	活動内容
11/23	チーム結成
12/1	館ヶ丘自治会 プロボノ キックオフ会議
12-1月前半	関係団体ヒアリング
1/12	館ヶ丘自治会 プロボノ 中間報告会
1月下旬	アンケート実施⇒集計
2月中	アンケート分析
3/10	最終報告会

自治会活動の現状

4. 自治会の役割

＜八王子市町会自治会連合会のガイドブックより＞



4. 館ヶ丘自治会の活動内容

活動	具体的内容
URとの各種交渉活動	公衆トイレの改修／共益費・植栽の見直し
コミュニティスペース (団地の縁側)	自由休憩所／カフェ／自治活動の拠点
団地情報のお知らせ (広報誌)	自治会便り／マンスリー自治会
団地生活の語り合い企画	縁側トーク（コーヒー片手に語ろう）
健康イベント	健康吹き矢／健康体操
防災活動	防災勉強会／避難施設見学
住民交流のイベント	夏祭り／餅つき／クリスマスコンサート
団地内移動サポート	団地タクシー

【調査結果①】 対面ヒアリング結果

5. 対面ヒアリング結果

○住民及び関連団体の皆様からの意見聴取およびアンケート作成への参考とするため、12月に2回実施。

対象者

- 住民：20名（加入者：10名、非加入者：10名）
- 関連団体：ふらっと相談室 館ヶ丘／お茶の間「民」／たてキッチン
“さくら”／館ヶ丘団地名店会／銀星会／学生ボランティア等の関係者

	餅つき大会(12/16)				スーパー前(12/22)				合計	
	加入		未加入		加入		未加入		加入	未加入
	男	女	男	女	男	女	男	女	－	－
2-30代			1	1	1		1	1	1	4
4-50代								1		1
60代～		4			1	4	2	3	9	5
合計	-	4	-	2	-	6	-	8	10	10

5. 対面ヒアリング結果＜回答傾向＞

自治会への未加入理由

加入状況については、自治会イベントの参加者や施設利用者は加入率が高く、若年層は低い傾向が見られた。

- (未加入の理由)
- ・ 入る理由／メリットを感じない、存在目的がわかっていない（30代、40代）
 - ・ 縁側に入りづらい／ボランティアと思うとかえって近寄り難い（30代）
 - ・ 自由気ままに暮らしたい／そういう場所と思って来た（60代～）
 - ・ 役員とか面倒臭そう／大変そう（60代～）
 - ・ 子供も既に独立し、行事にも出ることもほとんどない（60代～）

自治会の活動について

活動組織の関係者をはじめ、住民の皆様（未加入者含む）から現在の活動について評価する声は多くあり。一方活動の内容・範囲が分かりにくいとの意見もあった。

- (具体的コメント)
- ・ 数年前に比べ自治会の活動は非常に活発になっている
 - ・ 過去には色々あったが現在はよくやっていると思う
 - ・ 銀星会のリサイクル活動が自治会と重複している
 - ・ 何の目的で行っているかわからないものがある、重複しているということもある

5. 対面ヒアリング結果＜総評＞

評価点

数年前に比べ自治会の活動は非常に活発になっており、
団地のためによくやっているという印象

課題

＜対住民＞
自治会に入るメリットの見えづらさ

アンケートで深堀

＜対関連団体＞
自治会と他団体との役割整理や連携の必要性

役割整理

(次ページに)

＜対自治会内＞
自治会活動に対する人手不足

アンケートで深堀

5. 対面ヒアリング結果＜役割整理について＞

ターゲット		住民全体				高齢者			児童
活動内容		UR管理 事務所	館ヶ丘 自治会	館ヶ丘 名店街	たてキッチン さくら	館ヶ丘 銀星会	お茶の間 「民」	ふらっと 相談室	館ヶ丘 児童館
高齢者支援	団地タクシー		●					●	
	食事提供・支援			●	●		●		
	健康イベント		●	●		●	●	●	
	高齢者相談窓口		(○)					●	
	高齢者交流		(○)			●	●	●	
	高齢者見守り							●	
地域生活の 環境整備	防災（見回り、訓練、備蓄）		●						
	清掃活動	●							
	リサイクル回収		●			●			
	住環境維持（ベンチなど）	●	●						
	UR交渉		●	(○)					
住民交流	住民交流（カフェ等）		●		●			●	
	季節イベント		●	●	●	●	●		●
情報発信	行政からの発信		●						
	団体からのお知らせ		●		●		●	●	
育児支援	児童の育成支援				●				●



○ 各団体で同様の活動が複数ある状況

○ 住民からは関係がわかりにくく、マンパワーが分散している可能性あり

【調査結果②】 アンケート結果

7. アンケート実施概要

配布総数

約2400枚 （全戸配布）

回収数

243枚 （約10%）

スケジュール

1/24-25	アンケート配布
2/9	アンケート 回収・集計

質問項目

- 団地内施設の利用
- 自治会へのニーズ
- 自治会活動のお役立ち度
- 自治会への非加入理由

7. アンケート設計

⑤自治会活動の役立ち度

②各団体の利用状況

質問2. 団地内の各種団体活動に関する利用状況についてお答えください。

※50音順に記載	よく利用	利用	しない	ない
① 館ヶ丘管理サービス事務所 (UR 都市機構の窓口)	☐	☐	☐	☐
② 館ヶ丘銀星会 (老人会)	☐	☐	☐	☐
③ 館ヶ丘自治会 (団地生活の改善を目指す団体)	☐	☐	☐	☐
④ 館ヶ丘児童館 (子育て支援施設)	☐	☐	☐	☐
⑤ 館ヶ丘名店街 (スーパー以外の商店)	☐	☐	☐	☐
⑥ たてキッチン“さくら” (地域食堂)	☐	☐	☐	☐
⑦ お茶の間「民」 (地域交流の場)	☐	☐	☐	☐
⑧ ふらっと相談室 館ヶ丘 (高齢者向け総合窓口)	☐	☐	☐	☐

質問3. 各団体についてあなたの利用頻度が高いものを記入してください。

また、利用される主な理由もご記入ください。

番号: ____ 利用理由: (

番号: ____ 利用理由: (

↑上記の①～⑧を記載ください。

④自治会に期待すること

質問4. あなたが館ヶ丘自治会に期待する、重点的にやってほしいテーマをお選びください。

※□部分に「レ」を記入ください。※複数回答可 (八王子市町会自治会連合会のガイドブックを参考にしています)

- ☐市・行政からの情報共有 ☐UR との交渉 ☐防災活動・防災物資の備蓄
☐高齢者の見守り活動 ☐防犯パトロール ☐団地内各種団体との連携
☐住民同士の交流活動やイベント ☐その他 ()

質問5. 現状の館ヶ丘自治会活動について、あなたにとってのお役立ち具合をお選びください。

※表内の□に「レ」を記入ください。	とても役立っている	まあ役立っている	どちらでもない	あまり役立っていない	全く役立っていない	知らない
① UR との各種交渉活動 ・公衆トイレ改修 ・共益費 ・植栽見直し	☐	☐	☐	☐	☐	☐
② コミュニティスペース (団地の緑側) ・自由休憩所 ・カフェ 自治会活動の拠点	☐	☐	☐	☐	☐	☐
③ 団地情報のお知らせ (広報誌) ・自治会便り ・マンスリー自治会	☐	☐	☐	☐	☐	☐
④ 団地生活の語り合い企画 ・緑側トーク (コーヒー片手に語ろう)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑤ 健康イベント ・北集会所での「健康吹き矢」「健康体操」	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑥ 防災活動 ・防災勉強会 ・避難施設見学	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑦ 住民交流のイベント ・夏祭り ・餅つき ・クリスマスコンサート	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑧ 団地内移動サポート ・団地タクシー	☐	☐	☐	☐	☐	☐

質問6. 上記の自治会活動について、賛成・反対の理由を記入してください。

*特に役に立っている活動や楽しみにしている活動がありましたら、その理由についてお書きください。

*特に改善してほしい活動やあまり役立たないと思う活動がありましたら、その理由についてお書きください。

7. アンケート設計

質問7. <自治会に加入していない方のみ、お答えください>

加入していない理由として、あなたの気持ちに近いものをお選びください。

※□部分に「レ」を記入ください。※複数回答可。

- | | |
|--|---|
| ☐ 自治会活動の目的や内容がわからない | ☐ 自治会に入るメリットがわからない |
| ☐ 閉鎖的に感じる | ☐ 入るきっかけがなかった |
| ☐ 入会しなくても困らない | ☐ 他の団体活動に参加している |
| ☐ 加入している知人がいない | ☐ 自治会と意見が合わない |
| ☐ 自分の時間がなくなりそう | |
| ☐ その他（ | |

⑦非加入理由

質問8. 館ヶ丘自治会に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

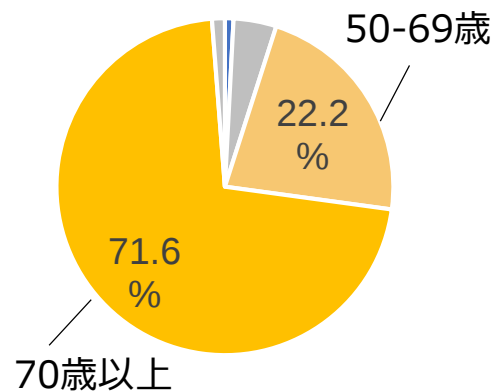
例) もっと対応して欲しいこと、改善してほしいこと、こんな活動があるといいなと思うことなど

⑧ご意見・ご要望

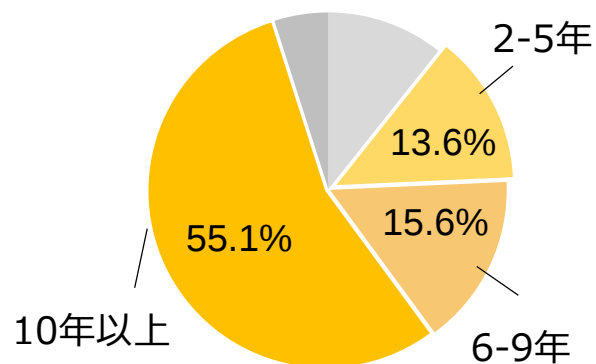
7. アンケート結果 <質問①属性分析>

- 実際の住民属性と比較し高齢者がやや多い
- 自治会非加入の意見も一定数取得できている

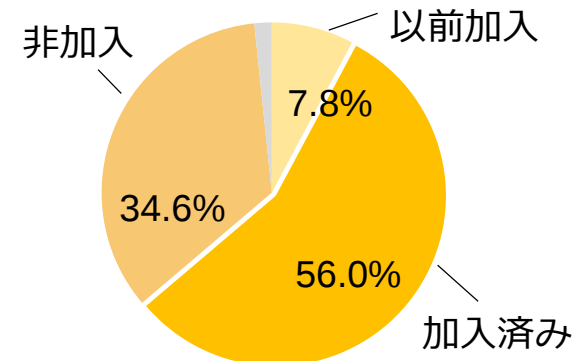
年齢層



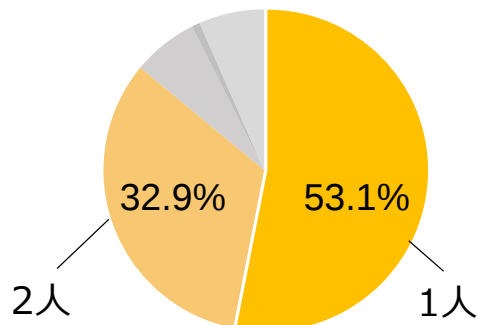
入居年数



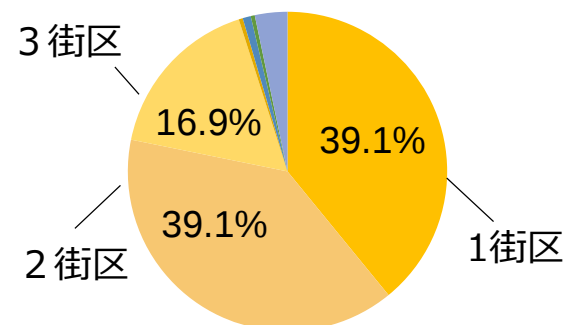
加入状況



家族数



居住棟



7. アンケート結果 <質問②③団地内施設の利用状況>

➤ 各団体ごとに利用目的があり、充実したサービスが整っている

利用施設状況

■利用施設

	よく利用	時々	利用しない	知らない
UR	22	169	39	0
銀星	14	12	138	62
自治会	33	82	95	11
児童	1	10	171	32
名店	41	145	45	3
さくら	25	92	110	5
たみ	13	24	142	47
ふらっと	26	75	120	8
計	175	609	860	168

利用の理由

■UR

- ・住居修理の申し込み
- ・住環境の相談

■銀星会

- ・カラオケをしたい
- ・友人を作りたい

■自治会

- ・駐車場利用のため
- ・困りごとの相談のため
- ・行事の参加

■児童館

- ・子供の遊び場

■名店街

- ・食事がおいしい
- ・駅前まで行く必要なく便利

■さくら

- ・安く健康的な食事ができる
- ・食、催事の参加、交流の場

■たみ

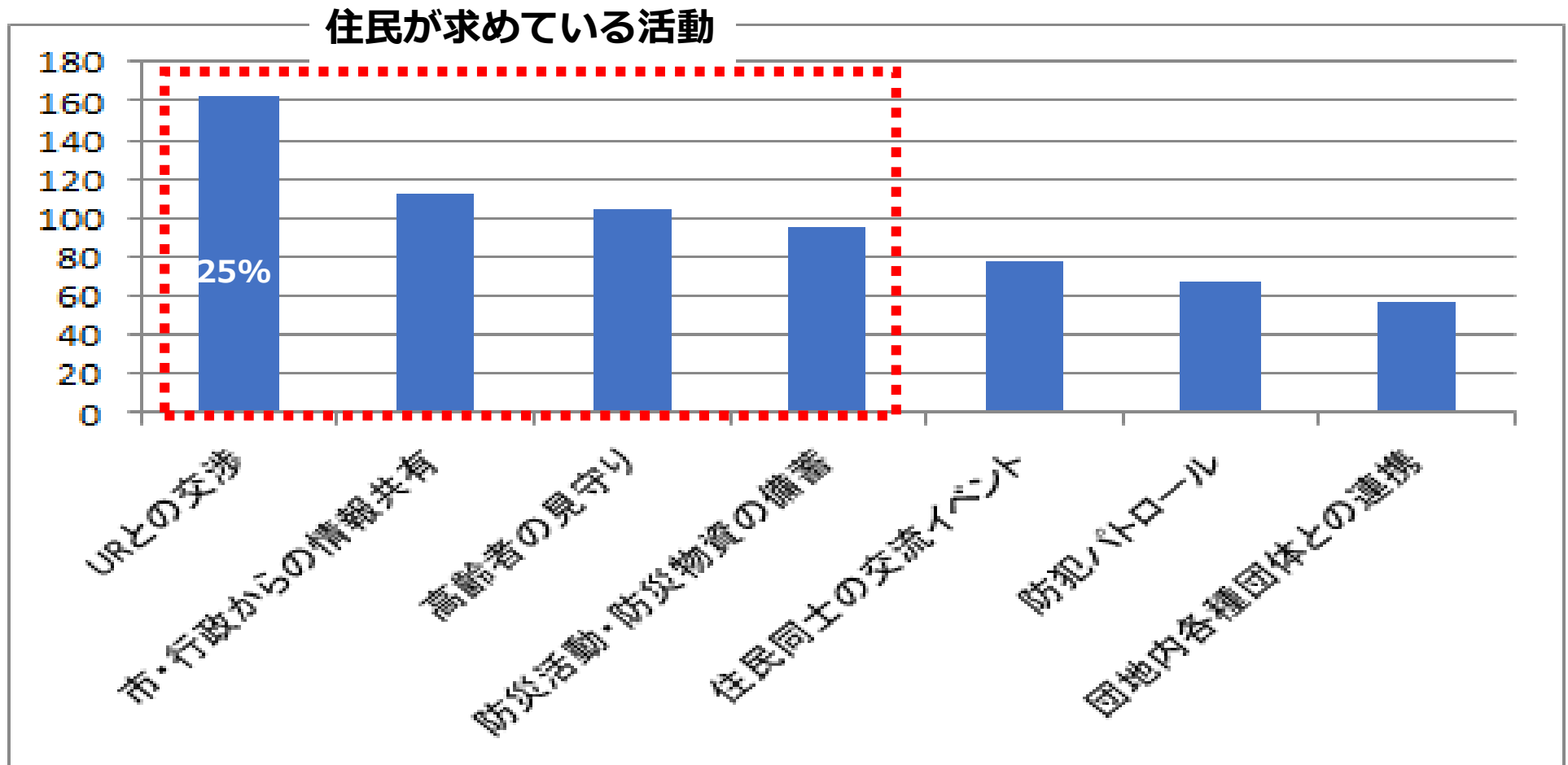
- ・気軽に食事が出来て楽しい
- ・家族的で居心地がいい

■ふらっと

- ・色々な相談ができる場所
- ・団地タクシー（平日）

7. アンケート結果 <質問④自治会への期待>

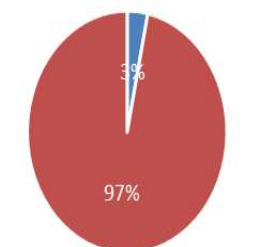
- 『UR交渉』の期待度がNo.1
- 『広報誌等の情報共有』『高齢者見守り』『防災活動』が2番手グループ



7. アンケート結果 <質問⑤自治会活動の認知度>

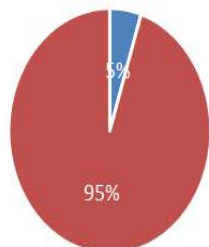
➤ すべての自治会活動は、**9割以上の住民が認知している**

URとの交渉



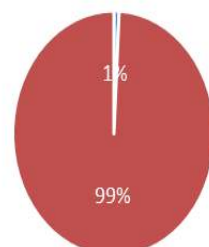
■ 知らない ■ 知っている

縁側運営



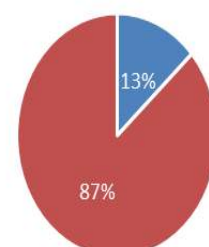
■ 知らない ■ 知っている

広報誌発行



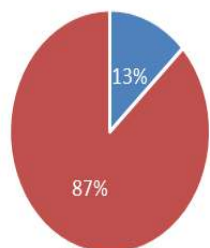
■ 知らない ■ 知っている

語り合い企画



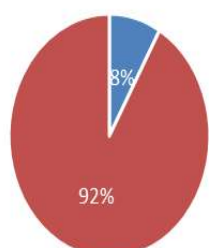
■ 知らない ■ 知っている

健康イベント



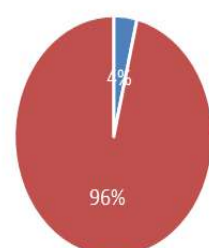
■ 知らない ■ 知っている

防災活動



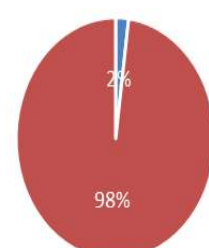
■ 知らない ■ 知っている

住民交流イベント



■ 知らない ■ 知っている

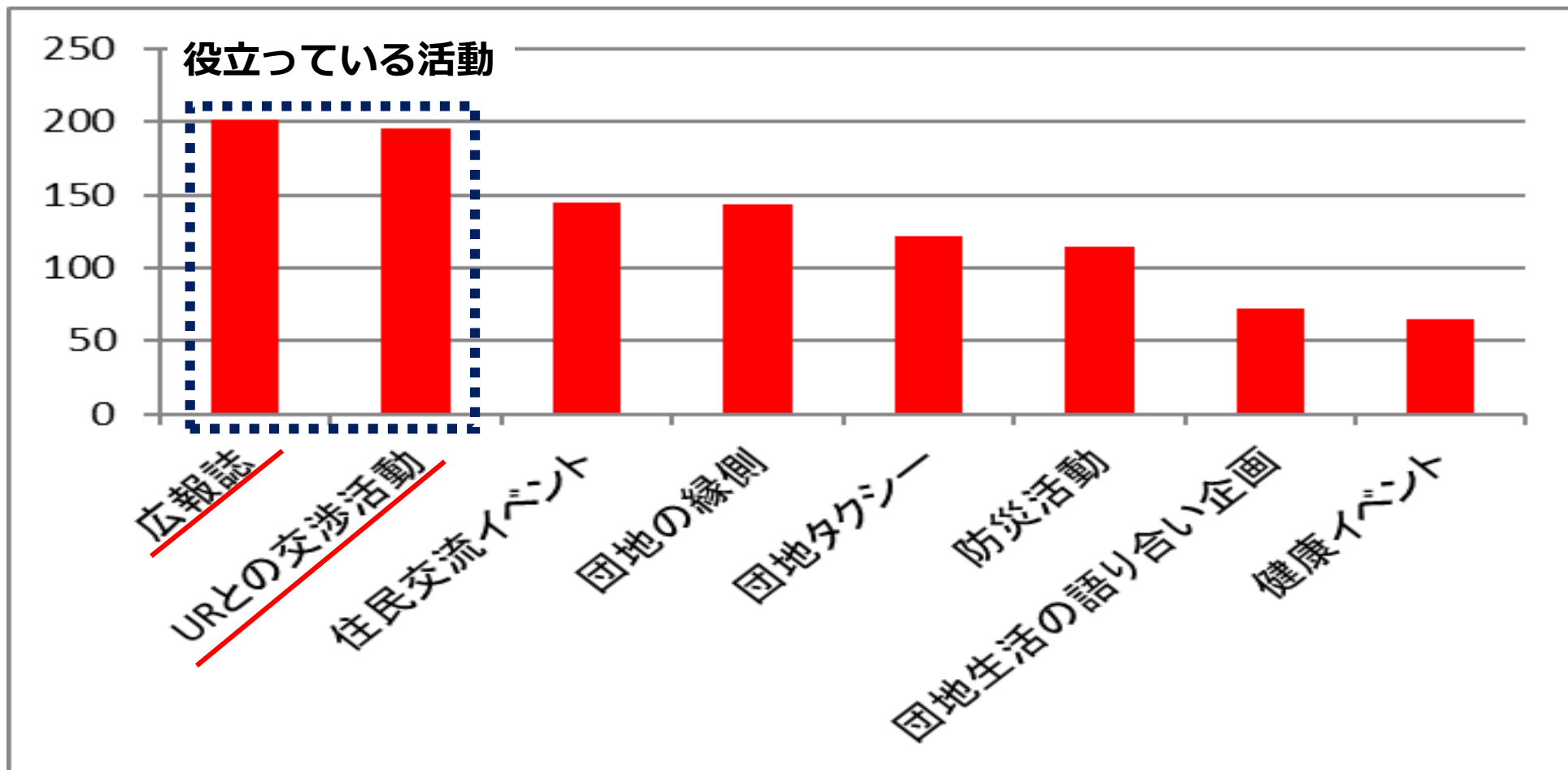
団地タクシー



■ 知らない ■ 知っている

7. アンケート結果 <質問⑤自治会活動の役立ち度>

- 「広報誌発行」「URとの交渉活動」の役立ち度が高い



7. アンケート結果 <質問④⑤期待⇔役立ち度の比較>

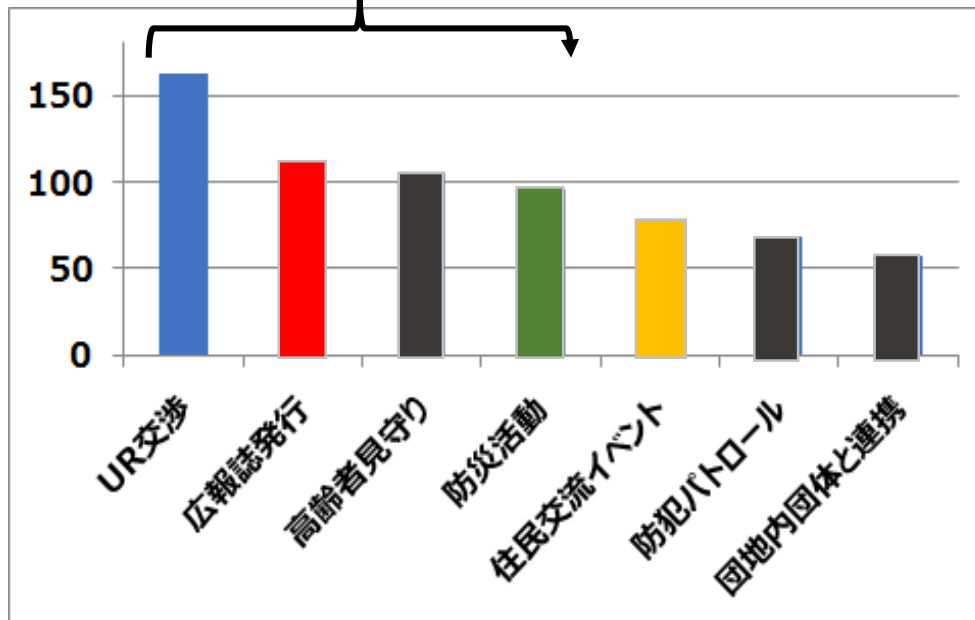
『URとの交渉』
『広報誌発行』『住民交流イベント』
『防災活動』

期待／役立ち度ともに高い
期待 < 役立ち度
期待 > 役立ち度

課題

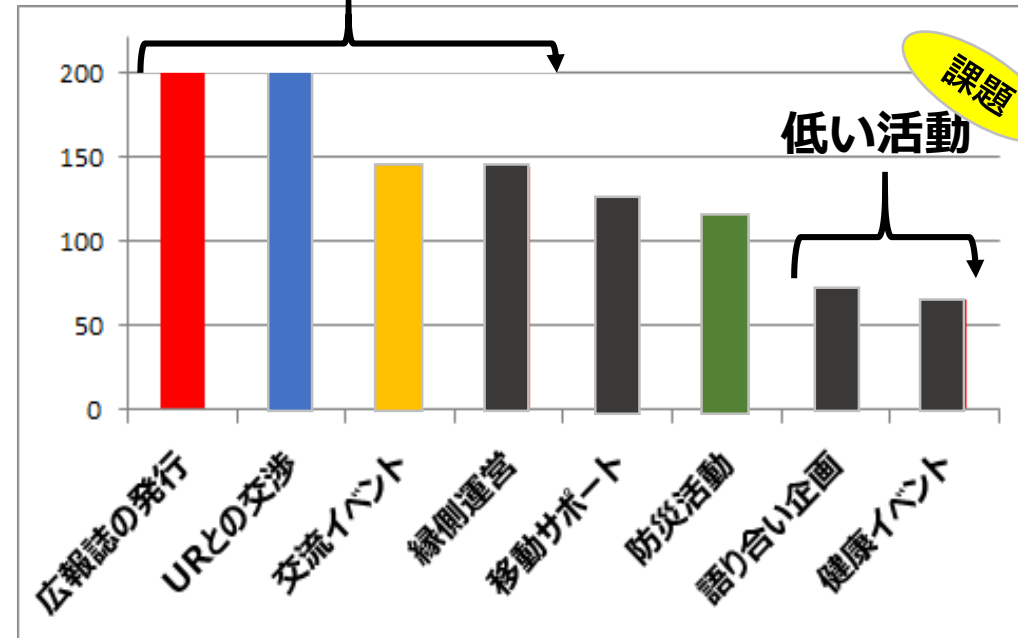
質問④ 期待する自治会活動

高い活動



質問⑤ 役立っている自治会活動

高い活動



課題

7. アンケート結果 <質問⑥自治会活動への意見>

➤ 「URとの交渉活動」「団地情報のお知らせ」に関する感謝・期待のコメントが多い

■ URとの各種交渉活動

(感謝・期待)

- ・ 公衆トイレの改修、植栽コスト見直しに感謝
(10件)

(その他コメント)

- ・ 住民の改善要望を調査して交渉してほしい。
例) 水飲み場の設置等
- ・ 新規入居者が「敷金なし」であれば、敷金を収めた住民との公平性をとるように要望してほしい。

■ 団地情報のお知らせ (広報誌)

(感謝・期待)

- ・ 広報誌の情報が役立っている (10件)

■ コミュニティスペース (縁側)

(感謝・期待)

- ・ 色々な人と話ができて楽しい。
- ・ もっと多くの住民が利用すればよい。
- ・ 気楽に知人と会って話ができる。
- ・ コーヒーを飲みながら話ができるのがよい。

(その他コメント)

- ・ 利用者がグループ化して入り難い。
- ・ 壁の展示が不整理な印象がする。

■ 団地生活の語り合い企画

(感謝・期待)

- ・ 開催をたのしみにしている。
- ・ 一人でも参加しやすい。

(その他コメント)

- ・ 開催する曜日を変更してほしい。

7. アンケート結果 <質問⑥自治会活動への意見>

➤「住民交流イベント」に対するコメントが多い

■健康イベント

(感謝・期待)

- ・健康体操をたのしみにしている。
- ・3名の指導者の個性があり楽しい。

(その他コメント)

- ・参加方法がわからない。
- ・吹き矢の見学に行ったが入りづらい雰囲気だった。
- ・吹き矢は土日に実施してほしい。

■住民交流のイベント

(感謝・期待)

- ・音楽会、夏祭りを楽しみにしている。(17件)
- ・夏祭りは団地外の若い人が参加するので良い。
- ・子供が小さいのでイベント開催がうれしい。

(その他コメント)

- ・餅つき大会で会員には1つ無料にしてはどうか。
- ・餅つき大会で豚汁復活してほしい。
- ・バザーを復活してほしい。

■防災活動

(感謝・期待)

- ・防災勉強会、避難施設見学役立った。
- ・生活に密着しており必要(4件)

■団地内移動サポート

(感謝・期待)

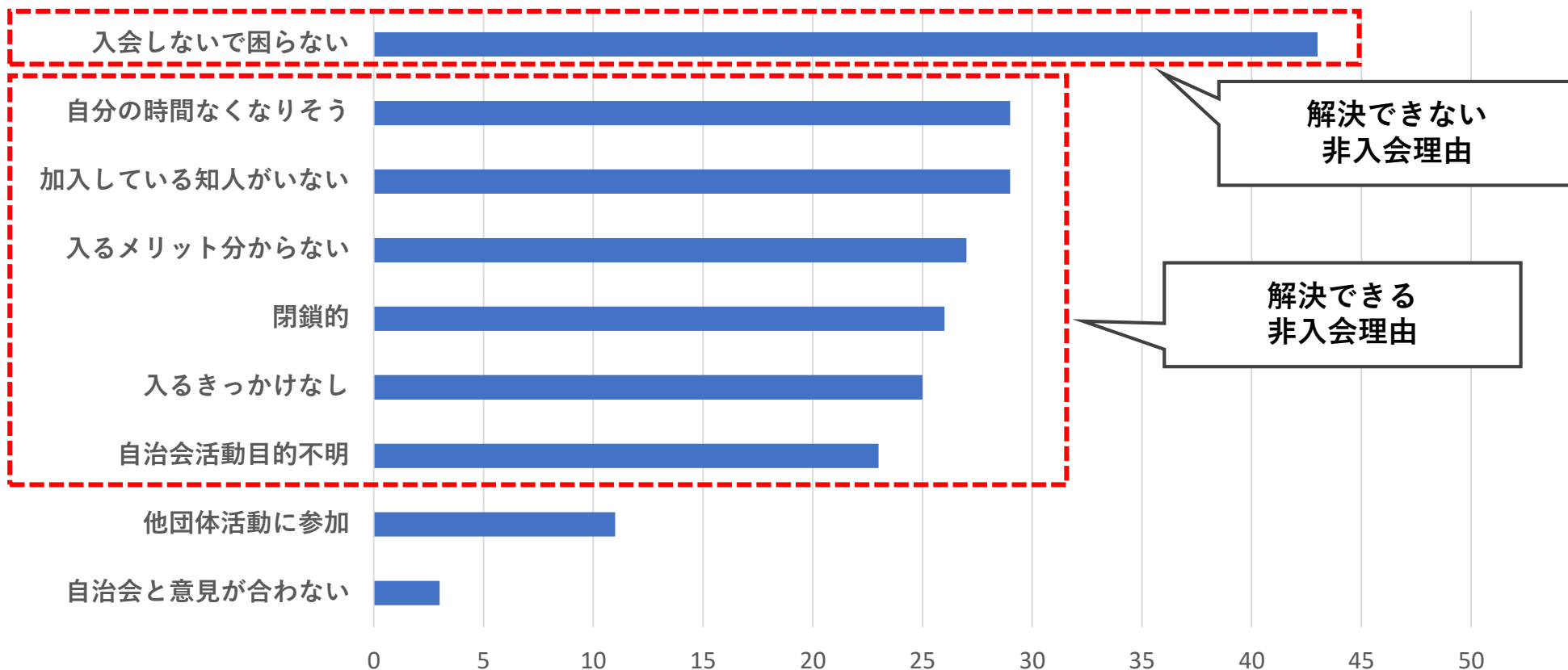
- ・足が不自由なので利用している。(7件)
- ・団地の特徴なので続けてほしい。(5件)

(その他コメント)

- ・利用方法がわからない。(5件)
- ・遅い時間も運行してほしい。
- ・1回100円程度徴収してはどうか。

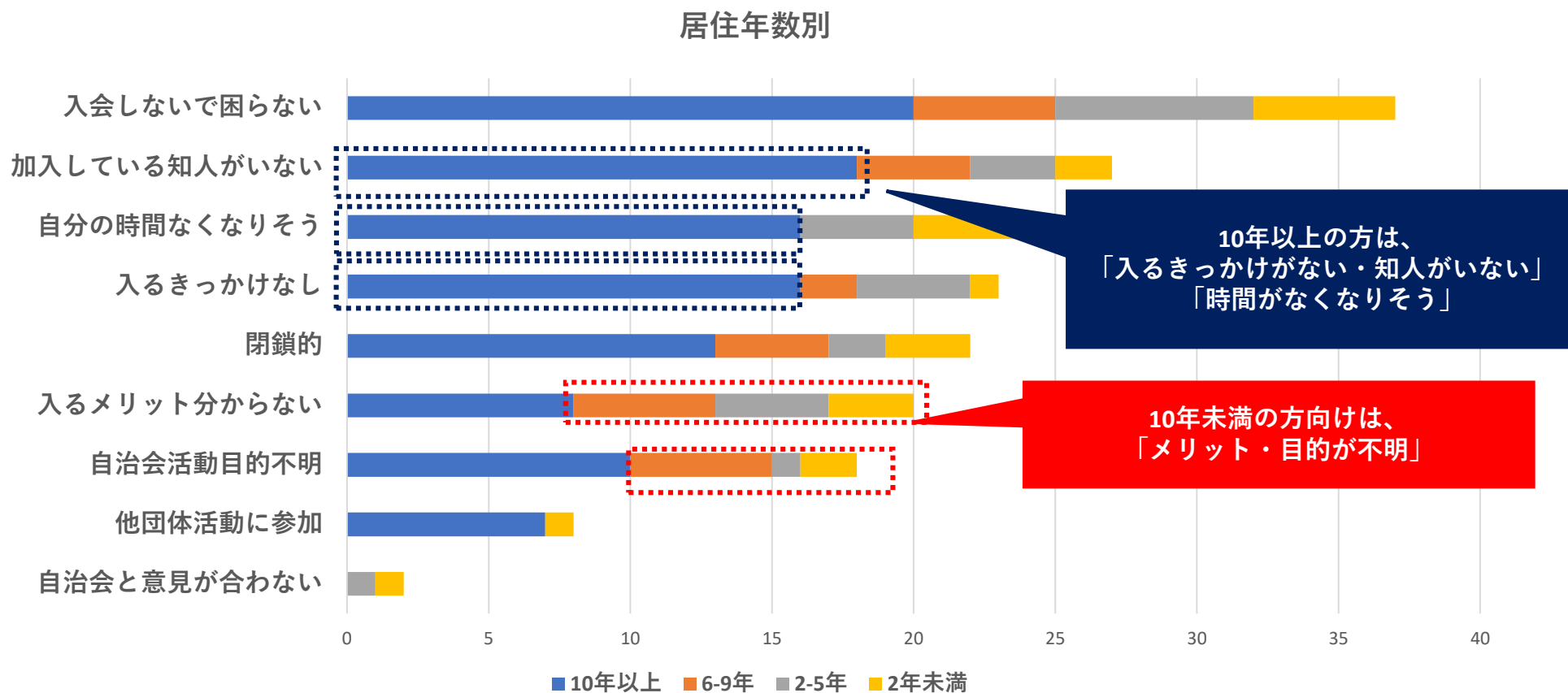
7. アンケート結果 <質問⑦自治会非入会理由>

- 非入会理由としては、複合的に存在
- その中でも、解決できない理由と、解決できる理由に分かれる



7. アンケート結果 <質問⑦自治会非入会理由>

- 居住年数別で、非入会理由に傾向あり
- 10年以上の方の理由は、「知人がいない・きっかけない」「時間がなくなりそう」
- 10年未満の方の理由は、「メリット・目的がわからない」



7. アンケート結果 <自治会への要望>

自治会の未加入者

批判的意見はありましたが、活動に期待している声もありました。

- ・ 本当に必要な事に取り組んで欲しい、メリットを知らせて欲しい（70代）
- ・ 全ての住人を対象に年寄りと若い方の交流の機会を作って欲しい（70代）
- ・ 住民が気楽に意見が言える機会、相談にのって欲しい（60代）
- ・ 個独死の対策を講じて欲しい（70代）
- ・ URに任せるべき（30代）

感動して涙が
出てきました

自治会の活動に関して

活動に感謝する声が多く、特に、サークル活動などの要望が多数ありました。

- ・ 防災面を考えて欲しい、住民を守って欲しい（70代）
- ・ 若い人に参加して欲しい、サークル活動、講座を期待したい（70代）（70代）
- ・ 自治会便りの活動は良くやっています、頑張ってください（60代）
- ・ 団地タクシーに感謝します（70代）
- ・ URとの交渉に力を入れて下さい。期待しています（40代）

【まとめ】 課題と提言

8. 解決すべき課題① <住民ニーズへの選択と集中>

<課題>

役立ちの低い活動がある。

- ①「防災活動」 . . . 期待度 > 役立ち度
- ②「語り合い企画」「健康イベント」 . . . 役立ち度が低い

<プロボノの提言>

住民の期待に沿った自治会活動へ

①期待の高い「防災活動」の強化

⇒災害時、自治体の支援が行き渡るまでの数日間住民生活を支援する活動に絞り
防災関連ルールの整理等の取り組みを強化しては？

②期待の低い「語り合い企画」「健康イベント」の活動見直し

⇒自治会のマンパワーが不足している現実もあり、運営方法を見直しては？

(参考事例) 「防災活動」の強化

安心・安全で住みよいまちづくりを目指して

個々を大切にしながら、住民が全員参加し、
地域の見守り、安心・安全を推進する

1. 地区単位の防災コミュニティづくり。
2. 住民と行政が協力して地区の防災計画をつくる。
3. 住民の意向と合意を基本とした安全な環境づくり。
4. 災害時における住民の活動体制づくり。

地域に合った防災まちづくりを進める。

(災害から3日間は自助努力で持ちこたえる体制作り)

- ★ 災害時住民支え合いマップ (安否確認)
- ★ イベント活動によるコミュニティづくり

8. 解決すべき課題② <加入阻害要因の解決>

<課題>

居住歴によって、非加入理由が異なる。解決の伸びしろがある。

- ①10年以上の理由は、「知人がいない・きっかけない」「時間がなくなりそう」
- ②10年未満の方の理由は、「メリット・目的がわからない」

<プロボノの提言>

ターゲットごとの非加入理由に即した、加入促進策の強化

【TG：長期住居者向け/きっかけない】⇒対策①参加したくなる動機づくり

(防災など目的が明確で、ハードル低く参加できる活動作りなど)

【TG:長期住居者向け/時間がなくなりそう】⇒対策②複層的な参加提示

(限定的な参加の提案や、負担感を生ませないアプローチの広報)

【TG:近年住居者向け/目的がわからない】⇒対策③意義を明確にした広報

(住民にとっての期待高いテーマに絞って広報など)

8. 解決すべき課題③ <関連団体との役割整理>

<課題>

団地内の関連団体との役割整理の必要性。

- ①各団体で同様の活動が複数ある
- ②住民からは関係がわかりにくく、マンパワーも分散

<プロボノの提言>

連携可能な範囲で協働を図り

○活動の認知度向上、内容の活性化（盛り上がり）

○マンパワーの補完、意見の集約（効率化）

例えば、Monthly館ヶ丘や自治会便りの作成タイミングに合わせて、各団体が集まり、意見交換などを行ってみてはいかがでしょうか。

<参考資料> 課題・解決アイデアシート（別紙有）

課題と提言

課題	課題	提言
住民ニーズへの選択と集中	期待>役立ちである「防災活動」	災害時、自治体の支援が行き渡るまでの数日間住民生活を支援するための活動に絞り、防災ルールの整理等の取り組みを強化
	役立ち度の低い「語り合い企画」「健康イベント」	自治会主導の活動とするかなどの整理が必要
入会阻害要因の解決	きっかけない（TG:10年以上居住）	参加しやすい動機づくり
	時間がなくなりそう（TG:10年以上居住）	複層的な参加提示
	目的がわからない（TG:10年未満居住）	期待の高い活動の認知アップ施策
関連団体との役割整理	各団体で同様の活動が複数ある	連携可能な範囲で協働を図る
	住民からは関係がわかりにくく、マンパワーも分散	○マンパワーの補完、意見の集約（効率化） ○活動の認知度向上、内容の活性化（盛り上がり）

解決アイデア例

ジャンル	具体アイデアの例	影響度	実現度
活動強化	災害時、自治体の支援が行き渡るまでの数日間住民生活を支援するための活動に絞り、防災ルールの整理等の取り組みを強化	★★★	B
活動整理	「健康イベント」などの健康・趣味はほかの団体との連携	★★	C
活動整理	「語り合い企画」などの住民意見吸い上げは重要なので、アンケートなどとも合わせてやり方の見なおし	★	C
活動強化	防災など目的が明確で、ハードル低く参加できる活動を作ること、参加者・加入者を増やす	★★	B
広報	勧誘リーフの見なおし（限定的でも十分、罪悪感を生ませないような複層的な参加提示のアプローチの広報）	★★	B
広報	勧誘リーフやマMonthly館ヶ丘や自治会便りの見なおし（目的を住民ニーズの高いものに絞るなどのメリハリのある広報活動）	★★	B
連携	Monthly館ヶ丘や自治会便りの作成タイミングに合わせて、各団体が集まり、意見交換などを行ってみてはいかがでしょうか。（継続する場合には「旗振り役」が必要）	★★★★	A
連携	館ヶ丘団地全体としてのミッションづくりや広報プラットフォームを作ってははいかがでしょうか。	★★★★	A

9. 最後に

調査結果から、今の自治会活動への評価は総じて高いことが明確になりました。一方で、テーマによってはさらに改善できる伸びしろもあることもわかりました。

また、館ヶ丘団地内の組織も充実していることが館ヶ丘の強みであり、ますます館ヶ丘団地内の連携の重要性が高まっているフェーズだと一同感じました。

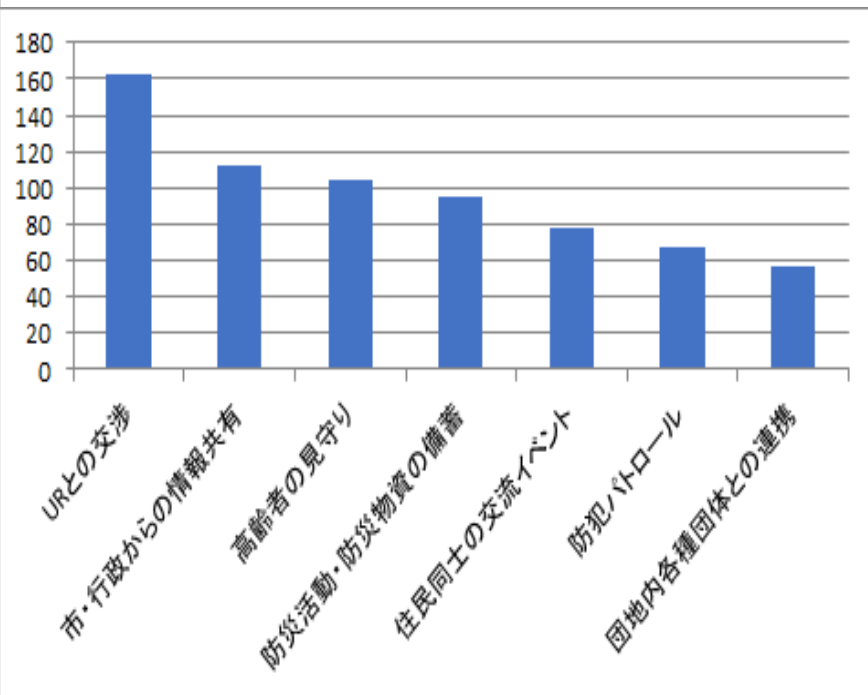
今回の調査が館ヶ丘団地の益々の充実につながるきっかけになると嬉しく思います。

調査にご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

参考資料

7. アンケート結果 <質問④自治会への期待>

- 全体の意見では、自治会へのニーズはUR交渉(24%) が最も高く、次に広報誌等の情報共有(15%)が高かった
- 防災活動への期待は年齢層区分を加味すると、50歳以上では非常に高くなる傾向（一方でイベントへの期待度は若い人が高くなる傾向）



年齢層

	人数		情報共有		UR交渉		防災活動		高齢者見守り	
30歳未満	2	1%		0%	2	1%		0%		0%
30～49歳	10	4%	2	2%	5	3%	1	1%	3	3%
50～69歳	54	22%	28	26%	43	26%	24	25%	29	27%
70歳以上	174	72%	76	71%	111	68%	71	74%	73	69%
(空白)	3	1%	1	1%	2	1%		0%	1	1%
総計	243	100%	107	100%	163	100%	96	100%	106	100%

	人数	防犯パトロール	他団体連携	交流イベント
30歳未満	2	1%	0%	0%
30～49歳	10	4%	4	6%
50～69歳	54	22%	21	30%
70歳以上	174	72%	45	63%
(空白)	3	1%	1	2%
総計	243	100%	71	100%

7. アンケート結果 <質問①属性分析>

未加入者の属性の傾向

- ①70歳未満（得に50-69歳） ②一人暮らしの方 ③1街区に未加入者、以前加入
④居住期間 5年未満

■家族人数

	以前加入	加入	未加入	回答無し	総計
1		6	71	51	129
2		10	48	21	80
3		2	9	4	16
4			1	1	2
回答無し		1	7	7	16
総計		19	136	84	243

■年齢

	以前加入	加入	未加入	回答無し	総計
30歳未満		1			2
30-49歳			5	5	10
50-69歳		1	23	30	54
70歳-		17	106	48	174
回答無し			1	1	3
総計		19	136	84	243

■街区

	以前加入	加入	未加入	回答無し	総計
1		13	45	35	95
2		3	60	32	95
3		3	25	13	41
回答無し			6	4	12
総計		19	136	84	243

■住居期間

	以前加入	加入	未加入	回答無し	総計
2年未満		0	14	12	26
2-5年		3	15	15	33
6-9年		2	25	11	38
10年以上		13	78	42	134
回答無し		1	4	4	12
総計		19	136	84	243

■家族人数 比率

	以前加入	加入	未加入	回答無し	総計
1	5%	55%	40%	1%	100%
2	13%	60%	26%	1%	100%
3	13%	56%	25%	6%	100%
4	0%	50%	50%	0%	100%
回答無し	6%	44%	44%	6%	100%
総計	8%	56%	35%	2%	100%

■年齢比率

	以前加入	加入	未加入	回答無し	総計
30歳未満	50%	50%	0%	0%	100%
30-49歳	0%	50%	50%	0%	100%
50-69歳	2%	43%	56%	0%	100%
70歳-	10%	61%	28%	2%	100%
回答無し	0%	33%	33%	33%	100%
総計	8%	56%	35%	2%	100%

■街区比率

	以前加入	加入	未加入	回答無し	総計
1	14%	47%	37%	2%	100%
2	3%	63%	34%	0%	100%
3	7%	61%	32%	0%	100%
回答無し	0%	50%	33%	17%	100%
総計	8%	56%	35%	2%	100%

■住居期間比率

	以前加入	加入	未加入	回答無し	総計	
2年未満		0%	54%	46%	0%	100%
2-5年		9%	45%	45%	0%	100%
6-9年		5%	66%	29%	0%	100%
10年以上		10%	58%	31%	1%	100%
回答無し		8%	33%	33%	25%	100%
総計		8%	56%	35%	2%	100%

7. アンケート結果 <質問②③利用状況>

自治会非利用者の属性の傾向

- ①70歳未満（得に50-69歳） ②一人暮らしの方 ③3街区に未加入者、以前加入
④居住期間 5年未満

■自治会 × 年齢

	よく利用	時々	利用しない	知らない	(空白)	総計
30歳未満			1	1		2
30-49歳				10		10
50-69歳	5	22	23	3	1	54
70歳-	28	58	59	8	21	174
(空白)		1	2			3
総計	33	82	95	11	22	243

	よく利用	時々	利用しない	知らない	(空白)	総計
30歳未満	0%	50%	50%	0%	0%	100%
30-49歳	0%	0%	100%	0%	0%	100%
50-69歳	9%	41%	43%	6%	2%	100%
70歳-	16%	33%	34%	5%	12%	100%
(空白)	0%	33%	67%	0%	0%	100%
総計	14%	34%	39%	5%	9%	100%

■自治会 × 街区

	よく利用	時々	利用しない	知らない	回答無し	総計
1	11	33	36	4	11	95
2	15	32	32	7	9	95
3	7	12	20		2	41
回答無し		5	7			12
総計	33	82	95	11	22	243

	よく利用	時々	利用しない	知らない	回答無し	総計
1	12%	35%	38%	4%	12%	100%
2	16%	34%	34%	7%	9%	100%
3	17%	29%	49%	0%	5%	100%
回答無し	0%	42%	58%	0%	0%	100%
総計	14%	34%	39%	5%	9%	100%

■自治会 × 家族数

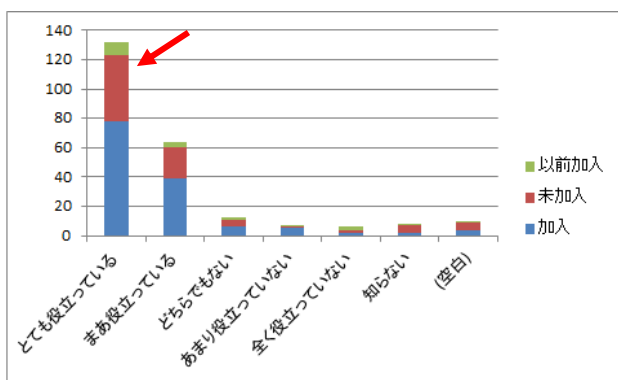
	よく利用	時々	利用しない	知らない	(空白)	総計
1	11	43	57	8	10	129
2	15	30	24	1	10	80
3	5	4	5	1	1	16
4			2			2
(空白)	2	5	7	1	1	16
総計	33	82	95	11	22	243

	よく利用	時々	知らない	利用しない	(空白)	総計
1	9%	33%	44%	6%	8%	100%
2	19%	38%	30%	1%	13%	100%
3	31%	25%	31%	6%	6%	100%
4	0%	0%	100%	0%	0%	100%
(空白)	13%	31%	44%	6%	6%	100%
総計	14%	34%	39%	5%	9%	100%

7. アンケート結果 <質問⑤自治会活動の役立ち度>

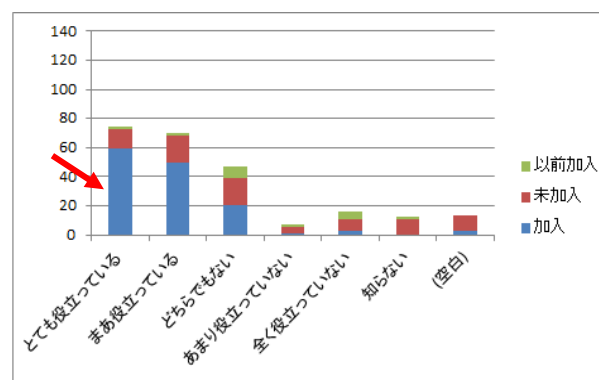
「URとの各種交渉活動」「団地情報のお知らせ（広報誌）」のお役立ち度が高い評価

■URとの各種交渉活動



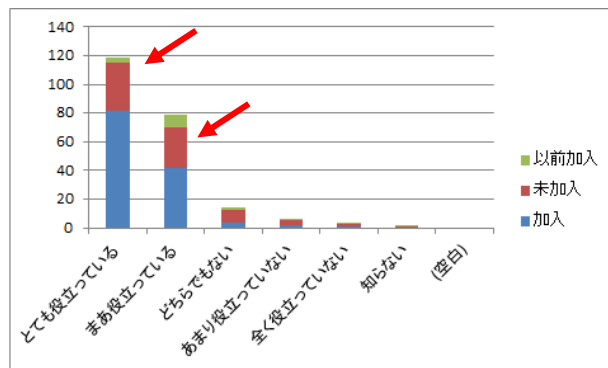
《補足》
・自治会加入状況にかかわらず「とても役立っている」が高い傾向

■コミュニティスペース（縁側）



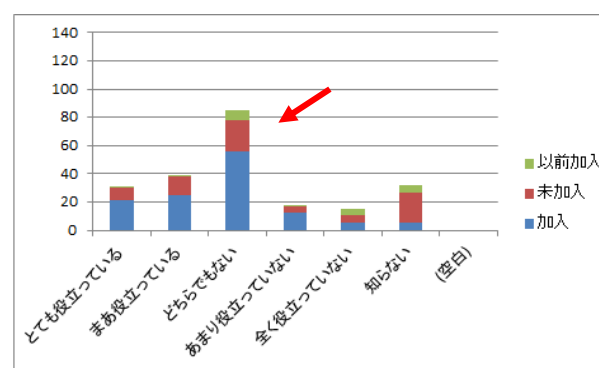
《補足》
・自治会加入者の役立ちが高い傾向

■団地情報のお知らせ（広報誌）



《補足》
・自治会加入状況にかかわらず「とても役立っている」「まあ役立っている」が高い傾向

■団地生活の語り合い企画

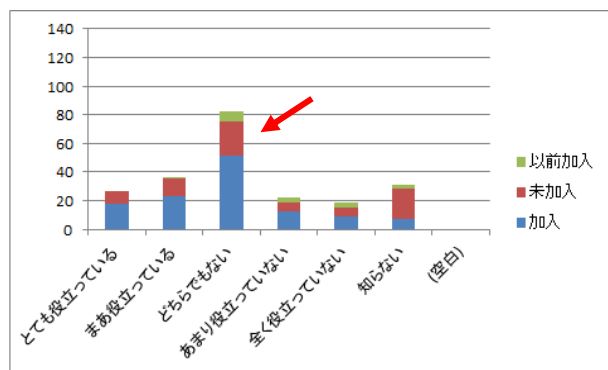


《補足》
・「どちらでもない」が高い傾向

7. アンケート結果 <質問⑤自治会活動の役立ち度>

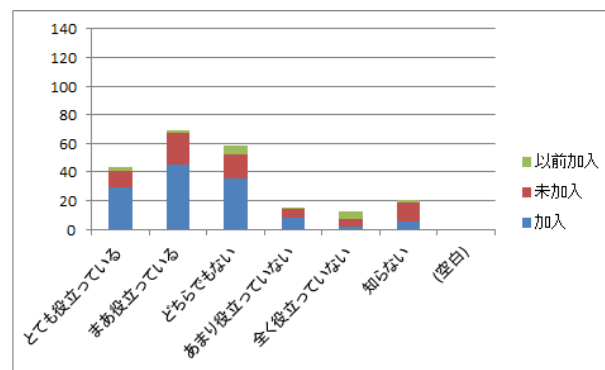
自治会加入者の住民交流イベントのお役立ち度が高い傾向

■健康イベント



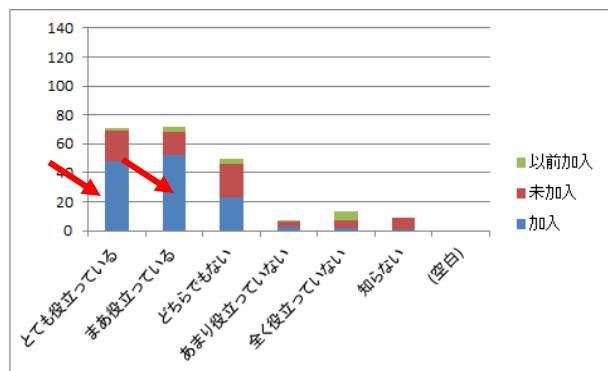
《補足》
・「どちらでもない」が高い傾向

■防災活動



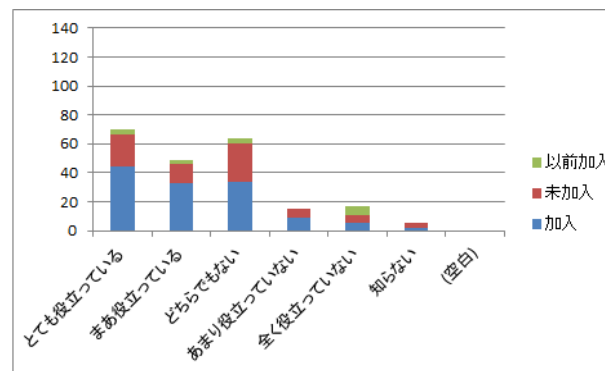
《補足》
・「まあ役立っている」「どちらでもない」がやや高い傾向

■住民交流のイベント



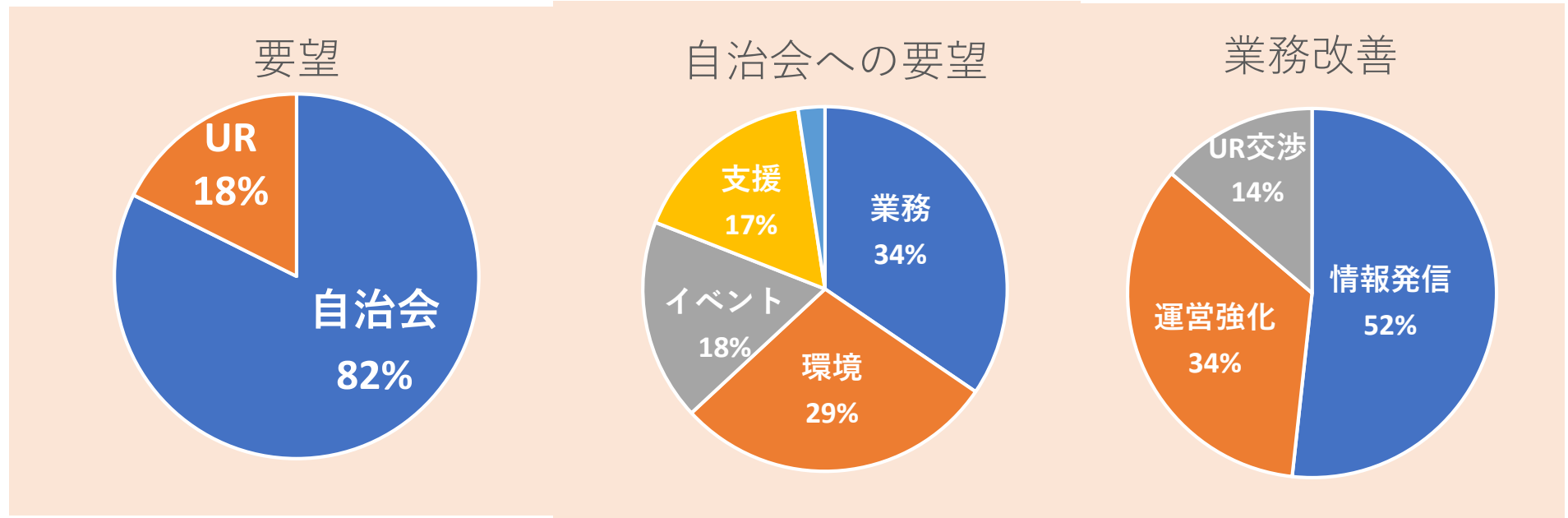
《補足》
・自治会加入者の「とても役立っている」「まあ役立っている」が高い傾向

■団地内移動サポート



《補足》
・「とても役立っている」「どちらでもない」がやや高い傾向

8. 解決すべき課題③ <自治会への要望>



総評：個人的な要望が多かった

解決：要望を解決する仕組み作り
防災まちづくり活動の啓蒙